|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校算数科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい算数」  臨時休業明けの年間指導計画参考資料  **【２年】** |

令和2年（2020年）6月版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

本資料は，令和２年度用教科書「新しい算数」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定しています。

**本資料をもってすべての状況に対応することは困難です。地域や学校の状況に合わせて，適宜，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなど，あくまで一例としてご活用ください**。

【本資料作成にあたっての基本原則】

●授業の1単位時間は同一であることを前提とします（例えば，30分授業，40分授業，45分授業などを柔軟に組み合わせる弾力的な時程編成を行うことは，本資料では前提にしません）。

●主体的な学習のための動機づけをしたり，思考力・判断力・表現力を育んだりする指導は，これまでと同様におもに授業で行うことを想定しています。

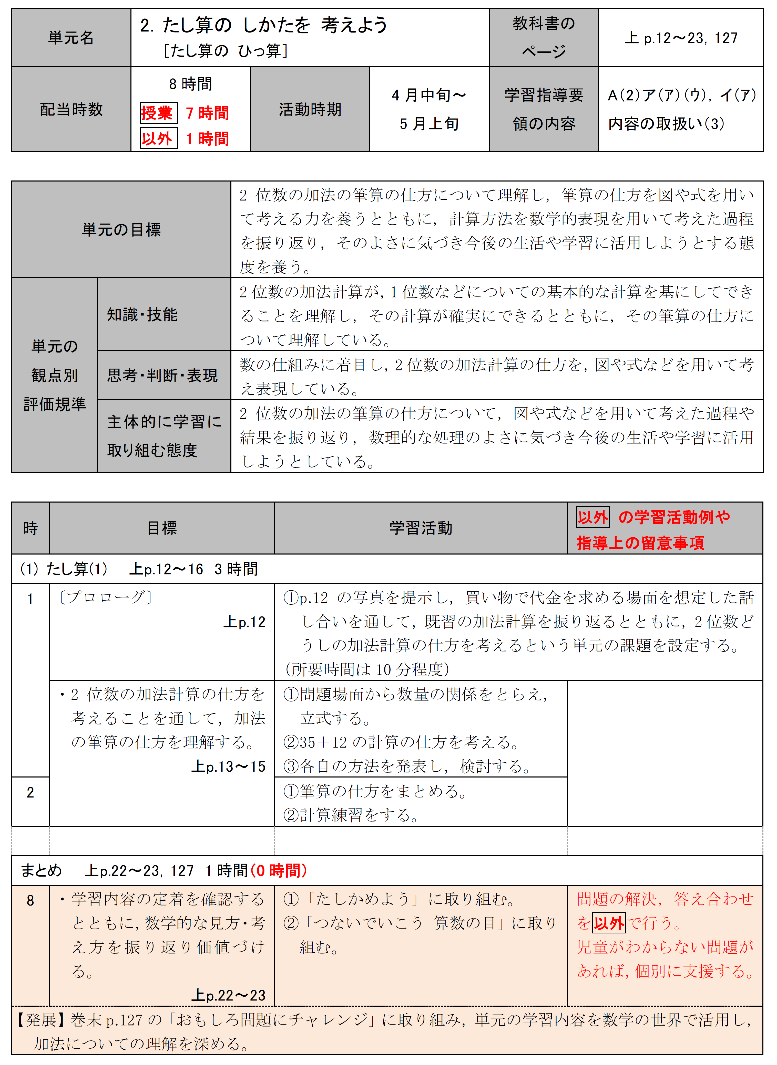
●学校の授業以外の場において取り組む学習活動としては，主として，

ア）習熟・定着のための演習をおもなねらいとしたページ

イ）既習内容の復習をおもなねらいとしたページ

ウ）単元で学習した内容を，日常生活や数学の世界で活用することをねらいとしたページ

を選定しています。

【本資料の見方】

平時の際の，学校での授業時

間数を表しています。

8時間

**授業 7時間**

**以外 1時間**

学校での授業（**授業**）と，学

校の授業以外の場において取

り組む学習活動（**以外**）を併

用して指導することを表して

います。

その場合の，**授業**，**以外**それぞれの時間数も示しています。

該当の時間の学習活動に即して，

**以外**における指導上の留意事項などを

適宜示しています。

あくまで一例ですので，学校や地域の実態に応じて，適宜ご参照ください。

**以外**で取り組むこととする学習活動には，赤いアミをしいています。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 学びのとびら | | | 教科書の  ページ | p.2～7 |
| 配当時数 | 1時間  **授業 0時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 4月中旬 | 学習指導要領の内容 | 第2学年の内容 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | ・算数科の学び方，問題解決の方法やノートのつくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。  p.2～7 | ①「もくじ」（5分）　表紙裏～p.1  ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。  ・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。  ②「授業ページ」（30分）　p.2～3  ・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。  ③「算数マイノートをつくろう」（7分）　p.4～5  ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートのつくり方を学級で共有する。  ④「“新しい算数”を使った学習の進め方」（3分）　p.6～7  ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。  ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」（補充問題），「ふりかえりコーナー」（知識の振り返り），「おもしろもんだいにチャレンジ」（数学の世界での発展）があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。  ※「指導者・保護者のみなさまへ」について  これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣（特に家庭での自学自習）を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。 | 教科書を読み，以下のような内容を確認する。  ・（表紙裏～p.1）デジタルコンテンツの存在や使い方のルール  ・（p.4～5）ノートのつくり方，活かし方  ・（p.6～7）教科書の構成  可能であれば，教科書の展開に沿ってp.2～3の問題にも取り組み，算数の学習における問題解決や学習のしかたをイメージする。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 1．わかりやすく あらわそう  ［グラフと ひょう］ | | | 教科書の  ページ | 上p.8～11 |
| 配当時数 | 3時間 | 活動時期 | 4月中旬 | 学習指導要領の内容 | D（1）ア（ｱ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 簡単なグラフや表について理解し，データを整理する観点を定め，簡単なグラフや表を通じて特徴をとらえ，考察する力を養うとともに，グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 身の回りにある数量を分類整理し，簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | データを整理する観点に着目し，身の回りの事象についてグラフや表を用いて考察している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りの事象に関心をもち，グラフや表を用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) グラフと ひょう　　上p.8～10　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.8 | ①p.8の絵を提示し，昼休みの過ごし方について話し合うことを通して，身の回りにある数量を分類整理して表すという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 身の回りにある数量を，整理する観点を決めて分類整理し，グラフや一次元表に表すことができる。   上p.9 | ①絵を見て，昼休みにしたことごとにグラフにまとめる。  ②昼休みにしたことの人数を数え，表にまとめる。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| 2 | * データを整理する観点に着目し，グラフや一次元表を読み取り，そのよさに気づき説明することができる。   上p.10 | ①グラフや表を読み，そのよさについて話し合う。 |  |
| まとめ　　上p.11　1時間 | | | |
| 3 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.11 | ①「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 本単元で学習する統計の内容は，中学校，高等学校でも学習内容が充実する。そのため，例外的に授業で扱うことを想定した。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 2．たし算の しかたを 考えよう　 ［たし算の ひっ算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.12～23，127 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 7時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 4月中旬～ 5月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）（ｳ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（3） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 2位数の加法の筆算の仕方について理解し，筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに，計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 2位数の加法計算が，1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできるとともに，その筆算の仕方について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 数の仕組みに着目し，2位数の加法計算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2位数の加法の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) たし算(1)　　上p.12～16　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.12 | ①p.12の写真を提示し，買い物で代金を求める場面を想定した話し合いを通して，既習の加法計算を振り返るとともに，2位数どうしの加法計算の仕方を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 2位数の加法計算の仕方を考えることを通して，加法の筆算の仕方を理解する。   上p.13～15 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②35＋12の計算の仕方を考える。  ③各自の方法を発表し，検討する。 |  |
| 2 | ①筆算の仕方をまとめる。  ②計算練習をする。 |
| 3 | * 2位数＋1位数＝2位数（繰り上がりなし，欠位，空位あり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.16 | ①32＋4の筆算の仕方を考える。  ②43＋5，7＋52，3＋70の筆算の仕方を考える。  ③計算練習をする。 |  |
| (2) たし算(2)　　上p.17～19　3時間 | | | |
| 4 | * 2位数＋2位数＝2位数（繰り上がりあり）の筆算の仕方を，数の仕組みに着目して考え，説明することができる。   上p.17～18 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②35＋29の計算の仕方を考える。 |  |
| 5 | ①35＋29の筆算の仕方を考え，まとめる。  ②計算練習をする。 |
| 6 | * 2位数＋1，2位数＝2位数（繰り上がりあり，答えの一の位に空位あり，欠位あり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.19 | ①28＋32，28＋6，3＋87の筆算の仕方を考える。  ②計算練習をする。 |  |
| (3) たし算の きまり　　上p.20～21　1時間 | | | |
| 7 | * 加法について交換法則が成り立つことを理解する。   上p.20～21 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，テープ図を完成させる。  ②テープ図を基に立式する。  ③17＋24＝41と24＋17＝41の2つの式を比べて，気づいたことを発表する。  ④加法計算をして，交換法則を用いて答えを確かめる。 |  |
| まとめ　　上p.22～23，127　1時間**（0時間）** | | | |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.22～23 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.127の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，加法についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 3．ひき算の しかたを 考えよう ［ひき算の ひっ算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.24～35，127 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 7時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 5月上旬～  下旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）（ｳ）（ｴ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 2位数の減法の筆算の仕方について理解し，筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに，計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 2位数の減法計算が，1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできるとともに，その筆算の仕方について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 数の仕組みに着目し，2位数の減法計算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2位数の減法の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) ひき算(1)　　上p.24～28　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.24 | ①p.24の写真を提示し，買い物で残金を求める場面を想定した話し合いを通して，既習の減法計算を振り返るとともに，2位数どうしの減法計算の仕方を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 2位数の減法計算の仕方を考えることを通して，減法の筆算の仕方を理解する。   上p.25～27 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②47－15の計算の仕方を考える。  ③各自の方法を発表し，検討する。 |  |
| 2 | ①筆算の仕方をまとめる。  ②計算練習をする。 |
| 3 | * 2位数－1，2位数（繰り下がりなし，空位，欠位あり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.28 | ①36－26，36－32，36－2の筆算の仕方を考える。  ②計算練習をする。 |  |
| (2) ひき算(2)　　上p.29～31　3時間 | | | |
| 4 | * 2位数－2位数（繰り下がりあり）の筆算の仕方を，数の仕組みに着目して考え，説明することができる。   上p.29～30 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②47－18の計算の仕方を考える。 |  |
| 5 | ①47－18の筆算の仕方を考え，まとめる。  ②計算練習をする。 |
| 6 | * 2位数－1，2位数（繰り下がりあり，空位，欠位あり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.31 | ①40－18，45－38，45－8，40－8の筆算の仕方を考える。  ②計算練習をする。 |  |
| (3) ひき算の きまり　　上p.32～33　1時間 | | | |
| 7 | * 減法と加法の関係を理解し，答えの確かめに用いることができる。   上p.32～33 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，テープ図を完成させる。  ②テープ図を基に立式し，答えを求める。  ③41－15の答え26に減数の15をたした結果を被減数と比べる。  ④減法計算をして，減法と加法の関係を用いて答えを確かめる。 |  |
| まとめ　　上p.34～35，127　1時間**（0時間）** | | | |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.34～35 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.127の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，減法についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | どんな 計算に なるのかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.36～37 |
| 配当時数 | 2時間  **授業 1時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 5月下旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）, イ（ｱ） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 2位数の加減法を適用して問題を解決することを通して，演算を決定する能力を伸ばす。   上p.36～37 | ①問題文を読み，どのような式になるかを考えて解決する。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| 2 | ①絵を見て作問し，友達と問題を出し合うなどして解決する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.38 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 5月下旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.38 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 4．長さを はかって あらわそう ［長さの たんい］ | | | 教科書の  ページ | 上p.39～51 |
| 配当時数 | 9時間  **授業 7時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 5月下旬～ 6月上旬 | 学習指導要領の内容 | C（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 長さの測定などの活動を通して，単位の意味と測定の原理を理解し，単位を用いて的確に表現する力を養うとともに，長さについて量の感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 長さについて単位と測定の意味や，単位の関係，物差しの目盛りの仕組みを理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，身の回りのものの長さを測定したり，指定された長さの直線をひいたりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 普遍単位の必要性に気づき，身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ，目的に応じた単位で長さを的確に表現したり，比べたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにあるものの長さに関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 長さの たんい　　上p.39～47　6時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.39～40 | ①p.39の写真を提示し，3本の鉛筆の長さの長短を予想し，長さを比較する方法を考えさせ，任意単位の比較では限界があることについての話し合いを通して，長さの測定や表し方について考えるという単元の課題を設定する。 | |
| 2 | * 普遍単位の必要性に気づき，長さを表す単位「センチメートル（cm）」を知り，その読み方や書き方を理解するとともに，簡易物差しによる測定活動を通して，測定の仕方を身につける。   上p.41～42 | ①普遍単位の必要性に気づき，長さの単位「センチメートル（cm）」を知る。  ②2cmは1cmの2つ分，3cmは3つ分，…であることをおさえながら，1cm目盛りの簡易物差しの目盛りの数を書き込む。  ③1cm目盛りの簡易物差しで，いろいろなものの長さをはかる。  ④手や指で10cmの長さをつくり，身の回りから10cmの長さのものを見つける。 |  |
| 3 | * 1cmに満たない長さを表すのに新たな下位単位の必要性に気づき，長さを表す単位「ミリメートル（mm）」を知り，1cm＝10mmの関係を理解する。   上p.43～44 | ①葉書の縦の長さをはかり，1cm未満の長さの表し方を考える。  ②1cmを10等分した1つ分の長さを「1ミリメートル」といい，「1mm」と書くことを知る。  ③1cm＝10mmの関係を確認する。 |  |
| 4 | * 物差しの目盛りの読み方を理解し，長さの測定の仕方に習熟する。   上p.45 | ①物差しの目盛りを読む練習をする。  ②物差しを使って，いろいろなものの長さをはかる。 |  |
| 5 | * 直線の意味を知り，同じ長さを，○cm○mmと，○mmの両方で表すことができる。   上p.46～47 | ①「直線」の意味を知る。  ②「センチメートル（cm）」，「ミリメートル（mm）」を用いて，直線の長さを表す。 |  |
| 6 | * 指定された長さの直線を，物差しを使ってひくことができる。   上p.47 | ①物差しを用いた直線のひき方を練習する。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| (2) 長さの 計算　　上p.48　1時間 | | | |
| 7 | * 長さの加減計算の仕方を理解する。   上p.48 | ①折れ線全体の長さや2本の折れ線の長さの差を，加減計算を適用して求める。 |  |
| まとめ　　上p.49～51　2時間**（0時間）** | | | |
| 8 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.49 | ①〔いかしてみよう〕物差しを使って，いろいろなものの長さをはかり，測定結果を記録してまとめ，発表し合う。  ②「ますりんつうしん」を読み，長い直線のひき方について知り，算数への興味・関心を高める。 | **以外**で，物差しを使った測定活動に取り組み，測定結果をノートに書く。 |
| 9 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.50～51 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 5．100より 大きい 数を しらべよう　 ［3けたの 数］ | | | 教科書の  ページ | 上p.52～67，128 |
| 配当時数 | 12時間  **授業 11時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 6月上旬～下旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ） （2）ア（ｲ）,  イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 1000までの数についてその意味や表し方を理解し，数の概念について理解を深め，図や式を用いて考える力を養うとともに，十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 3位数について，数の読み方や表し方，数の構成や大小，順序，数の相対的な大きさを理解し，数を書いたり読んだり，数や式の大小・相等関係を，不等号や等号を用いて表したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 10や100のまとまりに着目し，十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり，数を相対的な大きさからとらえたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 数の あらわし方と しくみ　　上p.52～61　8時間 | | | |
| 1 | * 3位数の読み方や表し方を理解する。   上p.52～55 | ①写真を見て，235個のクリップの数を工夫して数える。  ②235の数構成と命数法，記数法を知る。  ③クリップの数を数字で表す。  ④用語「百の位」を知る。 |  |
| 2 | ①205個のブロックの数を数字で表す。  ②棒や色紙の数を数字で表す。  ③3位数を書いたり読んだりする。 |
| 3 | * 数カードを並べて数を表すことを通して，3位数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。   上p.56～57 | ①位取り板と数カードを使って，各位の数を読み取ったり，3位数を数カードで表したりする。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| 4 | ①3位数の構成を基にした表し方（合成・分解）を練習する。  ②3位数の構成を，等式を使って表す。 |
| 5 | * 230などの数について，数のまとまりに着目して数の相対的な大きさをとらえることができる。   上p.58 | ①10円玉が14枚でどれだけになるかを，10を単位にして考える。  ②230円は10円玉で何枚になるかを，10を単位にして考える。 |  |
| 6 | * 数直線の読み取りを通して，3位数の大小，順序を理解する。   上p.59 | ①数直線を見て指示された目盛りの数を読んだり，数直線上に数を表したりする。 |  |
| 7 | * 1000の構成，数の読み方，書き方及び1000付近の数を理解する。   上p.60 | ①図の●の数を工夫して数え，百を10こ集めた数を「千」といい，「1000」と書くことを知る。 |  |
| 8 | * 1000までの数の構成を多面的にとらえ，数の見方を豊かにする。   上p.61 | ①780のいろいろな見方を表現する。  ②表現した見方を，式を使って表す。 |  |
| (2) 何十，何百の 計算　　上p.62～63　1時間 | | | |
| 9 | * 何十±何十，何百±何百などの計算の仕方を，数の構成に着目して考え，説明することができる。   上p.62～63 | ①10枚の束の色紙の絵を見て，50＋70，120－30の計算の仕方を考える。  ②100枚の束の色紙の絵を見て，300＋200，600－200の計算の仕方を考える。  ③10や100を単位にして数を単位としてとらえると，1位数の加減計算に帰着できることをまとめる。  ④数の構成（何百といくつ）に基づいて，500＋30などの計算の仕方を考える。 |  |
| (3) 数の 大小　　上p.64～65　2時間 | | | |
| 10 | * 不等号「＞」「＜」を知り，数の大小関係を式に表すことができる。   上p.64 | ①3つの学校の児童数の大小を比較する。  ②不等号「＞」「＜」を用いた式の表し方を知り，数の大小を不等号を用いて表す。 |  |
| 11 | * 数や式の大小，相等関係を不等号，等号を用いて式に表すことができる。   上p.65 | ①問題を読み，150円で買える品物を調べる。  ②数と式の大小，相等関係の表し方を知る。 |  |
| まとめ　　上p.66～67，128　1時間**（0時間）** | | | |
| 12 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.66～67 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.128の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，1000までの数についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 6．水の かさを はかって あらわそう　 ［水の かさの たんい］ | | | 教科書の  ページ | 上p.68～77 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 6時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 6月下旬～ 7月上旬 | 学習指導要領の内容 | C（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 体積について，測定などの活動を通して，長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し，単位を用いて的確に表現する力を養うとともに，体積について量の感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 体積について単位と測定の意味や，単位の関係を理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，体積の単位を適切に選択して身の回りにある入れ物に入る水の体積を測定することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 長さの学習を基に，普遍単位の必要性に気づき，身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目してとらえ，目的に応じた単位で体積を的確に表現したり，比べたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 水の かさの たんい　　上p.68～75　6時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.68 | ①p.68のコマ絵を提示し，2人の比べ方についての話し合いを通して，任意単位の比較では限界があることに気づかせ，容器に入る水の体積の測定や表し方について考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 普遍単位の必要性に気づき，体積を表す単位「デシリットル(dL)」を知り，その読み方や書き方を理解する。   上p.69～71 | ①プロローグの話し合いを受けて，同じ大きさのプリンカップで2つの水筒に入る水の体積を比較する。  ②共通の任意単位で2つの水筒に入る水の体積を数値化する。  ③共通の任意単位であっても，比較の限界があることを知る。 |  |
| 2 | ①体積の単位「デシリットル(dL)」を知る。  ②水筒に入る水の体積をdLを使って表す。  ③身の回りの容器に入る水の体積を1dLのますではかる。 |
| 3 | * より大きな体積を表すのに上位単位の必要性に気づき，   体積を表す単位「リットル(L)」について知り，1L＝10dLの関係を理解する。  上p.71～72 | ①大きな紙パックに入る水の体積を調べる。  ②体積の単位「リットル(L)」を知り，1L＝10dLの関係を確認する。 |  |
| 4 | * LやdLを用いた体積の表し方を理解する。   上p.73 | ①L，dLを用いて，体積を表す。 |  |
| 5 | * １dLより小さな体積を表すのに下位単位の必要性に気づき，体積を表す単位「ミリリットル(mL)」について知り，1L＝1000mLの関係を理解する。   上p.74 | ①絵を見て，1dLより少ないはしたの表し方に着目する。  ②体積の単位「ミリリットル(mL)」を知り，1L＝1000mLの関係を確認する。 |  |
| 6 | * 体積の加減計算の仕方を理解する。   上p.75 | ①2つの水筒に入る水の体積の和や差を，加減計算を適用して求める。 |  |
| まとめ　　上p.76～77　2時間**（0時間）** | | | |
| 7 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.76 | 〔いかしてみよう〕  ①身の回りから，LやmLの表示がされている容器を探す。 | **以外**で，mLやLの単位が用いられている容器を探す活動に取り組み，どのようなものがあったかをノートに書く。 |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.76～77 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.78 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 7月上旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.78 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 7．時計を 生活に 生かそう  ［時こくと 時間］ | | | 教科書の  ページ | 上p.79～83，128 |
| 配当時数 | 2時間 | 活動時期 | 7月中旬 | 学習指導要領の内容 | C（2）ア（ｱ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 時刻と時間の概念，日，時，分の単位やそれらの関係を理解し，数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 時刻と時間の区別，及び日，時，分の単位やそれらの関係を理解し，時刻や時間を求めたり，表したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 時間の単位に着目し，図などを用いて時刻と時間の求め方を考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 時刻や時間に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 時こくと 時間　　上p.79～83，128　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.79 | ①日常生活の中で，どんなときに時計を読んでいるかについての話し合いを通して，時刻と時間に関わる時計をさらに生活に生かしていくという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 「時刻」「時間」の意味や，時，分の関係を理解する。   上p.80～81 | ①絵を見て，各場面の時刻を読む。  ②図を見て，「時刻」と「時間」の意味の違いを考える。  ③簡単な場合の時刻や時間を求める。  ④1時間＝60分であることを知る。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| 2 | * 「午前」「午後」の意味や，日，時の関係を理解する。   上p.82～83 | ①絵を見て，同じ読み方の時刻が1日に2回あることに気づき，「午前」と「午後」の意味を知る。  ②午前，午後ともに12時間あることから，1日＝24時間であることをおさえる。 |  |
| * 【発展】巻末p.128の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を活用し，時刻と時間についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.84 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 7月中旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.84 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 8．計算の しかたを くふうしよう　 ［計算の くふう］ | | | 教科書の  ページ | 上p.85～89 |
| 配当時数 | 5時間  **授業 4時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 9月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）（ｳ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（2）（3） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 加法の結合法則，簡単な加減の暗算の仕方を理解することを通して，加減計算についての理解を深め，計算の仕方を数や式をよく見て考える力を養うとともに，計算法則，数の見方や構成を活用して計算方法を考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 加法の結合法則や（　）の用い方を理解するとともに，簡単な加減法の暗算ができる。 |
| 思考・判断・表現 | (　)の中を1つの数とみて，式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに，3口の数の加法計算について，数量の関係に着目し，結合法則などを基に工夫して計算している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 加減の計算方法について，計算法則，数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) たし算の きまり　　上p.85～87　2時間 | | | |
| 1 | * 加法の結合法則と，（　）の用い方を理解し，3口の数の加法計算ができる。   上p.85～87 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②7＋12＋8の計算の仕方を考える。  ③加法ではたす順序を変えても答えは同じになることをまとめる。  ④（　）の用い方を知り，それを使って考えを式に表し，加法計算をする。 |  |
| 2 | * 3口の数の加法計算の場面を，（　）を用いた式に表したり，（　）を用いた式から考えを読み取ったりすることができる。   上p.87 | ①問題場面から数量関係をとらえ，（　）を用いて3口の加法の式を立てる。  ②（　）を用いた式を読み，どのように考えたかを説明する。 |  |
| (2) たし算と ひき算　　上p.88　2時間 | | | |
| 3 | * 簡単な加減法の暗算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.88 | ①26＋7の計算を加数分解や被加数分解で暗算する。  ②加法の暗算の練習問題に取り組む。 |  |
| 4 | ①42－7の計算を工夫して暗算する。  ②減法の暗算の練習問題に取り組む。 |
| まとめ　　上p.89　1時間**（0時間）** | | | |
| 5 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.89 | ①「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 9．ひっ算の しかたを 考えよう　 ［たし算と ひき算の ひっ算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.90～103，129 |
| 配当時数 | 10時間  **授業 8時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 9月上旬～  下旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ）  内容の取扱い（3） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 既習の筆算を基に，2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し，筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに，計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 2位数の加法及びその逆の減法の計算について，1位数などの基本的な計算を基にできることを知り，それらの筆算の仕方について理解し，筆算の手順を基に確実に計算することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 既習の筆算を基に，数の仕組みに着目し，2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を，図や式などを用いて考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2，3位数の加減の筆算の仕方について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) たし算の ひっ算　　上p.90～93　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.90 | ①p.90の絵からメダルの数を求める計算の仕方についての話し合いを通して，既習の加減計算を振り返るとともに，数が大きくなった場合の加減計算の仕方を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 2位数＋2位数＝3位数（百の位への繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.91～92 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②83＋46の筆算の仕方を考える。  ③筆算の仕方をまとめる。  ④計算練習をする。 |  |
| 2 | * 2位数＋2位数＝3位数（十，百の位への繰り上がりあり）や，2位数＋1，2位数＝3位数（百の位への波及的繰り上がりあり）の筆算の仕方を，数の見方や既習の加法筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   上p.93 | ①76＋58の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方をまとめる。  ③46＋57，93＋8の筆算の仕方を考える。  ④計算練習をする。 |  |
| (2) れんしゅう　　上p.94　1時間**（0時間）** | | | |
| 3 | * 学習内容を適用して問題を解決する。   上p.94 | ①「れんしゅう」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| (3) ひき算の ひっ算　　上p.95～99　4時間 | | | |
| 3 | * 3位数－2位数（百の位からの繰り下がりあり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.95～96 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式する。  ②129－53の筆算の仕方を考える。  ③筆算の仕方をまとめる。  ④計算練習をする。 |  |
| 4 | * 3位数－2位数（十，百の位からの繰り下がりあり）の筆算の仕方を，数の見方や既習の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   上p.97 | ①146－89の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方をまとめる。  ③計算練習をする。 |  |
| 5 | * 3位数－1，2位数（十，百の位からの波及的繰り下がりあり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.97～99 | ①102－65の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方をまとめる。  ③計算練習をする。 |  |
| 6 | ①計算練習をする。  ②文章題に取り組む。 |
| (4) 大きい 数の ひっ算　　上p.100～101　2時間  ※本小単元の内容は，「スパイラルのため重複させる内容」であり，次学年で確実な習得をねらう。 | | | |
| 7 | * 3位数＋1，2位数（百の位への繰り上がりなし）や3位数－1，2位数（百の位からの繰り下がりなし）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   上p.100～101 | ①415＋32の筆算の仕方を，15＋32を基に考える。  ②345－21の筆算の仕方を，45－21を基に考える。  ③筆算の仕方をまとめる。 |  |
| 8 | ①18＋345，526＋9の筆算の仕方を考える。  ②483－27，524－6の筆算の仕方を考える。  ③計算練習をする。 |
| まとめ　　上p.102～103，129　1時間**（0時間）** | | | |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.102～103 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.129の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，加減法についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 10．さんかくや しかくの 形を しらべよう ［長方形と 正方形］ | | | 教科書の  ページ | 上p.104～116 |
| 配当時数 | 10時間  **授業 8時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 9月下旬～ 10月上旬 | 学習指導要領の内容 | B（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（5） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 平面図形に進んで関わり，図形についての感覚を豊かにしながら，三角形，四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解し，図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 三角形や四角形，直角，長方形，正方形，直角三角形の意味や性質を理解するとともに，紙を折って直角を作ったり，長方形や正方形などを作図したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し，三角形や四角形，長方形や正方形などの特徴を見いだし，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにあるものの形の中から，三角形や四角形，長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 三角形と 四角形　　上p.104～107　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.104 | ①p.133のパズルを使い，p.104に示されたいろいろな形を作り，それらの形についての話し合いを通して，平面図形に親しむとともに，三角や四角の形について調べるという単元の課題を設定する。  ＊デジタルコンテンツ設定有  （所要時間は30分程度） | |
| * 辺や頂点の数に着目して図形を分類する活動を通して，三角形，四角形の意味や性質を理解する。   上p.105～107 | ①辺や頂点の数に着目して，パズルの各ピースを仲間分けする。 |  |
| 2 | ①｢三角形｣，「四角形」の意味や性質を理解する。  ②用語「辺」「頂点」を知る。 |
| 3 | * 図形を弁別する活動などを通して，三角形，四角形についての理解を確実にする。   上p.107 | ①三角形，四角形を弁別する。  ②格子点を直線で結んで，三角形や四角形などの基本図形を構成する。 |  |
| (2) 長方形と 正方形　　上p.108～113　5時間 | | | |
| 4 | * 直角の意味を知り，身の回りから直角を見つけることができる。   上p.108～109 | ①身の回りから四角形の形をしたものを探す。  ②紙を折って直角を作る。  ③操作を通して，平角を2等分した形を「直角」ということを知る。  ④身の回りから直角を探す。 |  |
| 5 | * 長方形を構成要素に着目して見ることを通して，長方形の意味や性質を理解する。   上p.109～110 | ①不定形の紙を折って長方形を作る。  ②全てのかどが直角であることを確かめる。  ③「長方形」の意味や性質をまとめる。  ④長方形を弁別する。 |  |
| 6 | * 正方形を構成要素に着目して見ることを通して，正方形の意味や性質を理解する。   上p.111 | ①長方形の紙を折ってはみだした部分を切り取って正方形を作る。  ②全てのかどが直角で，全ての辺の長さが等しいことを確かめる。  ③「正方形」の意味や性質をまとめる。  ④正方形を弁別する。 |  |
| 7 | * 長方形，正方形を対角線で分割してできた三角形を，構成要素に着目して見ることを通して，直角三角形の意味や性質を理解する。   上p.112 | ①長方形，正方形を対角線で分割してできた形について考える。  ②「直角三角形」の意味や性質をまとめる。 |  |
| 8 | * 方眼を利用した長方形，正方形，直角三角形のかき方を，方眼の仕組みや図形の性質に着目して考え，作図することができる。   上p.113 | ①方眼を利用して，指定された長方形，正方形，直角三角形を作図する。 |  |
| まとめ　　上p.114～116　2時間**（0時間）** | | | |
| 9 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.114 | 〔いかしてみよう〕  ①身の回りから長方形や正方形の形をしたものを探す。  ②合同な長方形や直角三角形などを使って敷き詰め模様を作る。 | **以外**で取り組む。①は，どのようなものがあったかや，見つけたものを単元学習後の目で見て気づいたこと（角の形や辺の長さなど）を整理する。②は，台紙に貼りつけるなどして作った敷き詰め模様が残るようにする。 |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.115～116 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 11．新しい 計算を 考えよう　［かけ算(1)］ | | | 教科書の  ページ | 下p.2～24 |
| 配当時数 | 22時間  **授業 19時間**  **以外 3時間** | 活動時期 | 10月中旬～ 11月下旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｴ）, イ（ｱ） （3）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）（ｴ）, イ（ｱ）（ｲ）  内容の取扱い（4） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 乗法の意味について理解し，計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに，計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 乗法が用いられる場合や乗法九九について知り，乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質（乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則）を理解し，乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式で表したり，乗法九九（5，2，3，4の段）を構成し，確実に唱えたりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し，累加の考えや乗数と積の関係などを基に，乗法九九の構成の仕方を考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) かけ算　　下p.2～12　7時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.2 | ①p.2の絵を提示し，①②の場面で人数の数えやすさについての話し合いを通して，新しい計算（かけ算）について考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 「1つ分の数」「いくつ分」をとらえ，「1つ分の数」と「いくつ分」の関係の場合に乗法が用いられることを知り，乗法の意味を理解する。   下p.3～8 | ①絵を見て，それぞれの乗り物に乗っている子どもの人数を調べる。  ②総数が同じでも1台に乗っている人数が違うことから，「1つ分の数」と「いくつ分」をとらえる。 |  |
| 2 | ①絵やおはじきを使って，全体の人数の求め方を言葉で説明する。  ②5×3＝15の式の意味を知る。  ③「1つ分の数」と「いくつ分」が分かれば，全部の数を求められることをまとめる。  ④用語「かけ算」と記号「×」を知る。 |
| 3 | * 乗法の場面を式やおはじきで表す活動を通して，乗法の意味の理解を確実にする。   下p.8～9 | ①3，4ページの絵を見て，乗り物に乗っている人数をかけ算の式で表現する。  ②5，4のまとまりになっているものの写真を見て，乗法の式に表す。 |  |
| 4 | ①乗法の式から，その場面をおはじきで表す。  ②並んだおはじきを乗法の場面としてとらえ，乗法の式に表す。 |  |
| 5 | * 乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。   下p.10 | ①問題場面から数量の関係をとらえ，立式や答えの求め方について考える。  ②乗法の答えは，被乗数を乗数の数だけ累加して求められることをまとめる。 |  |
| 6 | * 倍の意味を知り，ある量の何倍かにあたる量を求めるときもかけ算を用いることを理解する。   下p.11 | ①3cmの2つ分を，3cmの「2ばい」ということを知る。  ②3cmの2倍の長さを求めるときも，3×2のかけ算の式になることを知る。 |  |
| 7 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.12 | 〔いかしてみよう〕  ①身の回りからかけ算の式になる場面を見いだす。  ②どのような乗法の式になるかを，「1つ分の数」×「いくつ分」＝「全部の数」を基に説明する。 | **以外**で取り組む。①は，学校外の場面でもよい。 |
| (2) 5のだん，2のだんの 九九　　下p.13～16　6時間 | | | |
| 7 | * 5の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.13～14 | ①お菓子が1箱に5個ずつ入っているときの1～4箱分の個数を求める。  ②累加や5とび，アレイ図などを用いて5の段の九九を構成する。 |  |
| 8 | * 5の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.14 | ①用語「九九」を知り，5の段の九九を唱え，カードなどを使って練習をする。  ②5の段の九九の答えは5ずつ増えていることを確認する。 |  |
| 9 | ①5の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| 10 | * 2の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.15～16 | ①1皿にすしが2個ずつ乗っているときの1～5皿分の個数を求める。  ②累加や2とび，アレイ図などを用いて2の段の九九を構成する。 |  |
| 11 | * 2の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.16 | ①2の段の九九を唱え，カードなどを使って練習をする。  ②2の段の九九の答えは2ずつ増えていることを確認する。 |  |
| 12 | ①2の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| (3) 3のだん，4のだんの 九九　　下p.17～21　7時間 | | | |
| 13 | * 3の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.17～18 | ①1パックに3個ずつ入っているプリンの1～4パック分の個数を求める。  ②3×4の答えにいくつたせば3×5になるかを考える。  ③3×5の答えに3をたせば3×6になることを活用して，3の段の九九を構成する。  ④用語「かけられる数」「かける数」を知る。 |  |
| 14 | * 3の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.18 | ①3の段の九九を唱え，カードなどを使って練習をする。  ②3の段の九九の答えは，乗数が1増えると3増えることを確認する。 |  |
| 15 | ①3の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| 16 | * 4の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.19～20 | ①1袋に4個ずつ入っているみかんの1～5袋分の個数を求める。  ②4×5のかける数が1増えると答えはいくつ増えているか確かめる。  ③4の段では，かける数が1増えると答えが4増えることを活用して，4の段の九九を構成する。 |  |
| 17 | * 4の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.20 | ①4の段の九九を唱え，カードなどを使って練習をする。  ②4の段の九九の答えは，乗数が1増えると4増えることを確認する。 |  |
| 18 | ①4の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| 19 | * 問題づくりによる，式の読みや式に表現することを通して，5，2，3，4の段の九九の理解を深める。   下p.21 | ①2×5＝10，5×2＝10で表される問題の式と答えをそれぞれ考え，乗法の式の意味について理解を確かめる。 |  |
| まとめ　　下p.22～24　2時間**（0時間）** | | | |
| 21 ・22 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.22～24 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| ①p.28の「ますりん通信」を読み，分配法則について関心をもつ。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 九九ビンゴ | | | 教科書の  ページ | 下p.25 |
| 配当時数 | 1時間  **授業 0時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 11月下旬 | 学習指導要領の内容 | A（3） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * かけ算九九を活用して九九ビンゴに取り組み，かけ算九九の習熟を図る。   下p.25 | ①九九ビンゴに取り組みながら，かけ算九九を習熟する。 | **以外**で，九九カードを使ったかけ算九九の習熟に取り組む。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 12．九九を つくろう　［かけ算(2)］ | | | 教科書の  ページ | 下p.29～50 |
| 配当時数 | 17時間  **授業 15時間**  **以外 　 2時間** | 活動時期 | 11月下旬～ 12月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｴ）, イ（ｱ） （3）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）（ｴ）（ｵ）, イ（ｱ）（ｲ）  内容の取扱い（4） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 乗法の意味について理解を深め，計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに，計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 乗法九九について知り，乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに，乗法が用いられる場面を絵や図，言葉，式で表したり，乗法九九（6，7，8，9，1の段）を構成し，確実に唱えたりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し，乗法について成り立つ性質やきまりを用いて，乗法九九の構成の仕方を考え工夫し，表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理や，乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 6のだん，7のだんの 九九　　下p.29～32　6時間 | | | |
| 1 | * 6の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.29～30 | ①6の段の九九の構成の仕方について考える。  ②累加や乗数と積の関係など既習の考えを活用して，6の段の九九を構成する。 |  |
| 2 | * 6の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.30 | ①6の段の九九を唱え，カードなどを使って練習する。  ②6の段の九九を見直し，九九表やアレイ図などを基にして，交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 |  |
| 3 | ①6の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| 4 | * 7の段の九九の構成の仕方を理解する。   下p.31～32 | ①7の段の九九の構成の仕方について考える。  ②累加や積と乗数の関係に加え，交換法則や分配法則など既習の考えを活用して，7の段の九九を構成する。 |  |
| 5 | * 7の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.32 | ①7の段の九九を唱え，カードなどを使って練習する。  ②7の段の九九を見直し，九九表やアレイ図などを基にして，交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 |  |
| 6 | ①7の段の九九を用いて問題を解決する。 |
| (2) 8のだん，9のだん，1のだんの 九九　　下p.33～38　5時間 | | | |
| 7 | * 8の段の九九の構成の仕方を考え，説明することができる。   下p.33 | ①8の段の九九の構成の仕方について考える。  ②既習の性質やきまりを活用して，いろいろな方法で8の段の九九を構成する。 |  |
| 8 | * 8の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.34 | ①8の段の九九を唱えたり，カードを用いたりして練習をする。  ②8の段の九九を用いて問題を解決する。 |  |
| 9 | * 9の段の九九の構成の仕方を考え，説明することができる。   下p.35 | ①9の段の九九の構成の仕方について考える。  ②既習の性質やきまりを活用して，いろいろな方法で9の段の九九を構成する。 |  |
| 10 | * 9の段の九九を確実に唱え，適用することができる。   下p.36 | ①9の段の九九を唱えたり，カードを用いたりして練習をする。  ②9の段の九九を用いて問題を解決する。 |  |
| 11 | * 1の段の九九を構成し，乗法の意味の理解を確実にする。   下p.37 | ①場面をとらえ，1×6の式からかけ算の意味を確かめる。  ②1の段の九九を唱える。 |  |
| * 九九を，答えの大きい方から唱えたり，途中から唱えたり，交互に唱えたりする活動を通して，九九の習熟・定着を図る。   下p.38 | ①九九を，答えの大きい方から唱えたり，途中から唱えたり，交互に唱えたりする活動に取り組む。  ②「ますりん通信」を読み，九九の由来について関心をもつ。 | 左記②を**以外**で行うことにより，かけ算九九への興味・関心を高める。  授業では，①により時間をかけ丁寧な指導を行う。 |
| (3) 九九の ひょうと きまり　　下p.39～41　2時間 | | | |
| 12 | * 九九表からきまりを見つける活動を通して，乗数と積の関係や，乗法の交換法則についての理解を深める。   下p.39～40 | ①九九表を見て，これまで九九の構成で用いた乗数と積の関係や，乗法の交換法則を確認する。  ②りくの吹き出しを読み，分配法則について調べる。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| 13 | * 乗法の性質やきまりを用いて，簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考え，説明することができる。   下p.41 | ①九九表を基に，学習してきた性質やきまりを用いて，被乗数が2位数のかけ算について答えの求め方を考える。 |  |
| (4) ばいと かけ算　　下p.42　1時間 | | | |
| 14 | * 2cmの3倍の長さを求めたり，図を見て基準量の何倍かを考えたりし，「倍」についての理解を深める。   下p.42 | ①2cmの3倍の長さをかけ算を使って求める。  ②㋐，㋑のテープの図を見て，㋑のテープの長さは㋐のテープの長さの何倍かを考える。 |  |
| (5) もんだい　　下p.43～47　1時間 | | | |
| 15 | 〔今日のふかい学び〕   * 乗法九九を総合的に活用して，ものの数の求め方を，かけ算を用いて解決できるように工夫して考え，説明することができる。   下p.43～47 | ①チョコレートの数のいろいろな求め方を，図を基に考える。  ②他者の考えを読み取り，図や式に表す。  ③同じ数のまとまりに着目すればかけ算を用いて解決できることをまとめる。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| まとめ　　下p.48～50　2時間**（0時間）** | | | |
| 16 ・ 17 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.48～50 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 下p.51 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 12月中旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   下p.51 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 13．1000より 大きい 数を しらべよう　 ［4けたの 数］ | | | 教科書の  ページ | 下p.52～65 |
| 配当時数 | 11時間  **授業 9時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 1月中旬～下旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）（ｵ）, イ（ｱ） （2）ア（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（1） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 10000までの数についてその意味や表し方を理解し，数の概念について理解を深め，図や式を用いて考える力を養うとともに，十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 4位数について，数の読み方や表し方，数の構成や大小，順序，数の相対的な大きさを理解し，数を書いたり読んだり，数や式の大小・相等関係を，不等号や等号を用いて表したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数のまとまりに着目し，十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり，数を相対的な大きさからとらえたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 4けたの 数　　下p.52～62　9時間 | | | |
| 1 | * 10000未満の数の数え方と命数法，記数法，4位数の位取りの仕組みを理解する。   下p.52～54 | ①絵を見て，2354個の一円玉の数を工夫して数える。  ②2354の数構成と命数法を知る。  ③数えた一円玉の数を数字で書き表す方法を考え，記数法を知る。  ④用語「千のくらい」を知る。 |  |
| 2 | * 空位のある4位数の記数法を理解するとともに，4位数の位取りの仕組みの理解を深める。   下p.55 | ①2054を表す数カードを見て，その数を数字で表す。  ②4位数を読んだり書いたりする。 |  |
| 3 | * 数カードを並べて数を表すことを通して，10000未満の数の構成について理解する。   下p.56～57 | ①位取り板と数カードを使って各位の数を読み取ったり，4位数を数カードで表したりする。  ＊デジタルコンテンツ設定有 |  |
| 4 | ①4位数の構成を基にした表し方（合成・分解）を練習する。  ②4位数の構成を，等式を使って表す。 |
| 5 | * 2300などの数について，数のまとまりに着目して数の相対的な大きさをとらえることができる。   下p.58 | ①100を18こ集めた数について考える。  ②2300は100をいくつ集めた数かについて考える。  ③数構成（100がいくつ）に基づいて，800＋700や1000－800の計算をする。 |  |
| 6 | * 数直線の読み取りを通して，4位数の大小，順序を理解する。   下p.59 | ①数直線の1目盛りの大きさや，指示された目盛りの数を読んだり，数直線上に数を表したりする。 |  |
| 7 | * 10000の構成，数の読み方，書き方及び10000付近の数を理解する。   下p.60～61 | ①図の●を工夫して数え，千を10こ集めた数を「一万」といい，「10000」と書くことを知る。 |  |
| 8 | ①数直線を見て指示された目盛りの数を読んだり，数直線上に数を表したりする。  ②4位数の大小を，不等号を使って表す。  ③数直線上で10000付近の数を読む。 |
| 9 | * 10000までの数の構成を多面的にとらえ，数の見方を豊かにする。   下p.62 | ①3800を，多様な見方でとらえ，言葉や式で表す。  ②500とびで数を数えたり，大きい数から小さい数へ順に2とびで唱えたりする。 |  |
| まとめ　　下p.63～65　2時間**（0時間）** | | | |
| 10 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.63 | 〔いかしてみよう〕  ①身の回りから数が使われている場面を探し，数には，ものの大きさを表しているものと，表していないものがあることを知る。 | **以外**で取り組む。教科書p.63の③は，見つけた数と，それがものの大きさを表しているかどうかについての判断をノートに書く。 |
| 11 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.64～65 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 14．長い 長さを はかって あらわそう　 ［長い ものの 長さの たんい］ | | | 教科書の  ページ | 下p.66～73 |
| 配当時数 | 6時間  **授業 5時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 1月下旬～ 2月上旬 | 学習指導要領の内容 | C（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 長いものの長さの測定などの活動を通して，単位の意味と測定の原理を理解し，単位を用いて的確に表現する力を養うとともに，長さについて量の感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 長さについて単位と測定の意味や，単位の関係を理解し，およその見当をつけながら量の感覚を身につけるとともに，長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 上位単位の必要性に気づき，身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ，既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにあるものの長さに関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 長い ものの 長さの たんい　　下p.66～70　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.66 | ①p.66の写真を提示し，「ひろ」と，「あた」「つか」の比較についての話し合いを通して，長いものの長さについて考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * より長い長さを表すのに上位単位の必要性に気づき，長さを表す単位「メートル（m）」を知り，1m＝100cmの関係を理解する。   下p.67～68 | ①両手を広げた長さを30cm物差しではかる。  ②120cmについて，上位単位の必要性を考える。  ③長さの単位「メートル（m）」を知り，1m＝100cmの関係を確認する。 |  |
| 2 | * 同じ長さを，○m○cmと，○cmの両方で表すことができる。   下p.69 | ①掲示板の横の長さを，加法を適用し，「メートル（m）」，「センチメートル（cm）」を用いて表す。 |  |
| 3 | * 測定活動を通して1mの量感を養う。   下p.70 | ①床から1mの高さだと思う体の箇所を予想し，1m物差しを使って確かめるとともに，床から1mの高さにある体の箇所を把握する。  ②1m物差しを使って，いろいろなものの長さを見当をつけてからはかる。  ③指定された長さについて，適切な単位を選ぶ。 |  |
| まとめ　　下p.71～73　3時間**（１時間）** | | | |
| 4 ・ 5 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.71 | 〔いかしてみよう〕  ①「テープものさし」を作成し，いろいろなものの長さを測定する。 |  |
| 6 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.72～73 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 15．図を つかって 考えよう　 ［たし算と ひき算］ | | | 教科書の  ページ | 下p.74～81，111 |
| 配当時数 | 5時間  **授業 4時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 2月上旬～  中旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｴ）, イ（ｱ） 内容の取扱い（2） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 加法と減法の相互関係について理解し，数量の関係に着目し，場面を図に表して構造をとらえる力を養うとともに，加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 加法と減法の相互関係について理解し，加法と減法の相互関係を表した図を用いて，図や式に表し，問題を解決することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し，場面を図に表して構造をとらえている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 加法と減法の相互関係に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) たし算と ひき算　　下p.74～79　4時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.74 | ①p.74の図を見て，□で隠れている枚数についての話し合いを通して数量の関係をとらえ，図を使って加法と減法の関係について考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 加法逆の減法（未知数が後に出てくる）の問題解決を通して，加法と減法の相互関係についての理解を深める。   下p.75～76 | ①テープ図を基に，数量の関係をとらえる。  ②加法逆の減法の問題場面であることをとらえ，問題を解決する。 |  |
| 2 | * 減法逆の加法（未知数が先に出てくる）の問題解決を通して，加法と減法の相互関係についての理解を深める。   下p.77 | ①テープ図を基に，数量の関係をとらえる。  ②減法逆の加法の問題場面であることをとらえ，問題を解決する。 |  |
| 3 | * 加法逆の減法（未知数が先に出てくる）の問題解決を通して，加法と減法の相互関係についての理解を深める。   下p.78 | ①テープ図を完成させ，数量の関係をとらえる。  ②加法逆の減法の問題場面であることをとらえ，問題を解決する。 |  |
| 4 | * 減法逆の減法の問題づくりを通して，場面をテープ図や式に表現し，問題を解決する力を伸ばす。   下p.79 | ①減法逆の減法の問題づくりを行う。  ②つくった問題場面をテープ図に表し，問題を解決する。 |  |
| まとめ　　下p.80～81，111　1時間**（0時間）** | | | |
| 5 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.80～81 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.111の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，加法と減法の相互関係についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 16．分けた 大きさの あらわし方を しらべよう　［分数］ | | | 教科書の  ページ | 下p.82～90，112 |
| 配当時数 | 5時間  **授業 4時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 2月中旬～  下旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｶ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 1/2や1/3などの簡単な分数について知り，同じ大きさに分けるという操作に着目して分けた大きさの表し方を考える力や，2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえる力を養うとともに，具体物や図などを用いて数学的に表現・処理した過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 具体物を操作することなどによって，1/2や1/3などの簡単な分数について知り，いくつかに等分した大きさの1つ分をつくりそれらの大きさを分数を使って表すことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 同じ大きさに分けるという操作に着目して分けた大きさの表し方を考えたり，2つの数量の関係に着目して倍や分数の意味についてとらえたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 分数　　下p.82～87　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.82 | ①p.82の絵を見て，同じ大きさに分けた1つ分の表し方についての話し合いを通して，分けた大きさの数字を使った表し方を調べるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 半分にした大きさを二分の一といい，1/2と書くことを理解する。   下p.83～84 | ①正方形の紙を半分に折って切り分け，同じ形であることを確かめる。  ②二分の一の意味と書き方を知る。  ③元の大きさの1/2の2つ分は，元の大きさになることを確かめる。  ④長方形の紙を半分に折って切り，元の大きさの1/2を作る。  ⑤元の大きさの1/2かどうかを判定する。 |  |
| 2 | * 四半分にした大きさを四分の一といい，1/4と書くことを理解する。   下p.85～86 | ①長方形の紙を半分の半分に折って切り分け，同じ形であることを確かめる。  ②四分の一の意味と書き方を知る。  ③用語「分数」を知る。  ④元の大きさの1/4の4つ分は，元の大きさになることを確かめる。  ⑤八分の一の意味と書き方を知る。 |  |
| 3 | * 3つに等分した1つ分の大きさを三分の一といい，1/3と書くことを理解する。   下p.87 | ①同じ長さになるように3つに分けたテープの1つ分の長さを，分数を使って表す方法を考える。  ②三分の一の意味と書き方を知る。  ③元の大きさの1/3の3つ分は，元の大きさになることを確かめる。 |  |
| (2) ばいと 分数　　下p.88～89　1時間 | | | |
| 4 | * 2つの数量の関係に着目し，倍や分数の意味についてとらえる。   下p.88～89 | ①2人のテープの長さを比べ，りくのテープの長さはあみのテープの長さの2倍，あみのテープの長さはりくのテープの長さの1/2であることを確かめる。  ②2つのテープの長さについて，一方は他方の2（4）倍，他方は一方の1/2（1/4）であることを確かめ，まとめる。 |  |
| まとめ　　下p.90，112　1時間**（0時間）** | | | |
| 5 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.90 | ①「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.112の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，分数についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 下p.91 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 2月下旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   下p.91 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 17．はこの 形を しらべよう　［はこの 形］ | | | 教科書の  ページ | 下p.92～97，113 |
| 配当時数 | 5時間  **授業 4時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 2月下旬～ 3月上旬 | 学習指導要領の内容 | B（1）ア（ｳ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して，正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し，図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 箱の形をしたものの構成要素について理解し，正方形や長方形を組み合わせたり，ひごなどを用いたりして，箱の形を構成することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 頂点，辺，面などの図形を構成する要素に着目し，箱の形の特徴を見いだし，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにあるものの形の中から，箱の形をしたものを見つけ，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) はこの 形　　下p.92～96　4時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.92 | ①身の回りから探した箱の形についての話し合いを通して，図形への興味・関心を高め，箱の形について調べるという単元の課題を設定する。  （所要時間は15分程度） | |
| * 箱の形（直方体や立方体）に親しみ，立体と平面の関係を知り，その面の形や数をとらえることができる。   下p.93～94 | ①箱の作り方について考える。  ②箱の面を紙に写し取る。 |  |
| 2 | ①用語「面」を知る。  ②紙に写し取った箱の面の形や数を調べる。 |
| 3 | * 組み立てた箱を考察することを通して，箱の形についての理解を深める。   下p.95 | ①写し取った面の形を切り取って，同じ長さの辺や向かい合う面などに着目してつなぎ合わせ方を考える。  ②箱を組み立てる。  ③6つの面をつないで組み立てても箱の形にならない場合について，その理由を考える。 |  |
| 4 | * 直方体や立方体の頂点，辺の数などの構成要素を理解する。   下p.96 | ①箱の形の骨格模型を作るために必要な粘土玉（頂点）の数とひご（辺）の長さや本数を調べる。  ②1つの頂点には，違う長さの辺が1本ずつ集まることをとらえる。 |  |
| まとめ　　下p.97，113　1時間**（0時間）** | | | |
| 5 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p. 97 | ①「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.113の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を数学の世界で活用し，箱の形についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 計算ピラミッド | | | 教科書の  ページ | 下p.98～99 |
| 配当時数 | 2時間  **授業 0時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 3月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（2） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 既習内容を総合的に適用して問題を解決することを通して，問題解決の能力を伸ばす。   下p.98～99 | ①計算ピラミッドに取り組み，既習の加減計算の練習をする。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| 2 | ①p.99上の問題に取り組み，下のますに同じ数を入れたときのきまりを見つける。  ②p.99上の問題で見つけたきまりが，他の数でも成り立つかどうか確かめる。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 2年の ふくしゅう | | | 教科書の  ページ | 下p.100～104 |
| 配当時数 | 4時間  **授業 0時間**  **以外 4時間** | 活動時期 | 3月上旬 | 学習指導要領の内容 | A～D |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 ～ 4 | * 既習内容の理解を確認する。   下p.100～104 | ①問題を解決する。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |